

A sepia-toned photograph of a coastal town, likely Kobe, Japan, viewed from a high vantage point. The foreground shows the tiled roofs of traditional Japanese buildings. In the middle ground, a harbor with several ships is visible, including a large steamship. The background features a steep, forested hillside.

黒島地区の町並みは、東西約680m、南北約1,300m、面積約20.5ヘクタールの範囲に広がっており、天領として栄えました。集落を縦に貫く本通りを中心に、通りに沿って伝統的建造物が連続しています。集落は緩やかな丘陵斜面上にあり、高台に上ると海を背景にして黒瓦が重なりあう美しい景観を一望できます。明治期から現代までの幅広い建築物があり、江戸時代当時の町割りが良く残っており、「黒瓦」「格子」「下見板張り」という共通要素によって、統一感のある美しい景観の町並みを保っています。

黒島地区では、平成19年(2007)の能登半島地震によって、多くの建物が被害を受けました。地区内の286棟のうち、3分の1が全半壊状態となり、黒島の歴史的景観も崩壊の危機にあったのです。しかし、それを機に黒島では美しい町並みを後世に残していくため、「黒島地区まちづくり協議会」を発足させ、地元主体による町並み保存型のまちづくりを目指しました。

協議会を中心に、震災復興のための各種住宅再建支援事業を活用しつつ、伝統的匠匠を踏まえた修復や、町並みに配慮した新築がなされ、黒島地区の歴史的景観に配慮した復興が進められました。

その一環として、伝統的建造物群保存地区制度の活用を目指し、住民、行政との協働による調査が進められ、平成21年(2009)6月30日に、**国の重要伝統的建造物群保存地区に選定**されました。

[illegible]

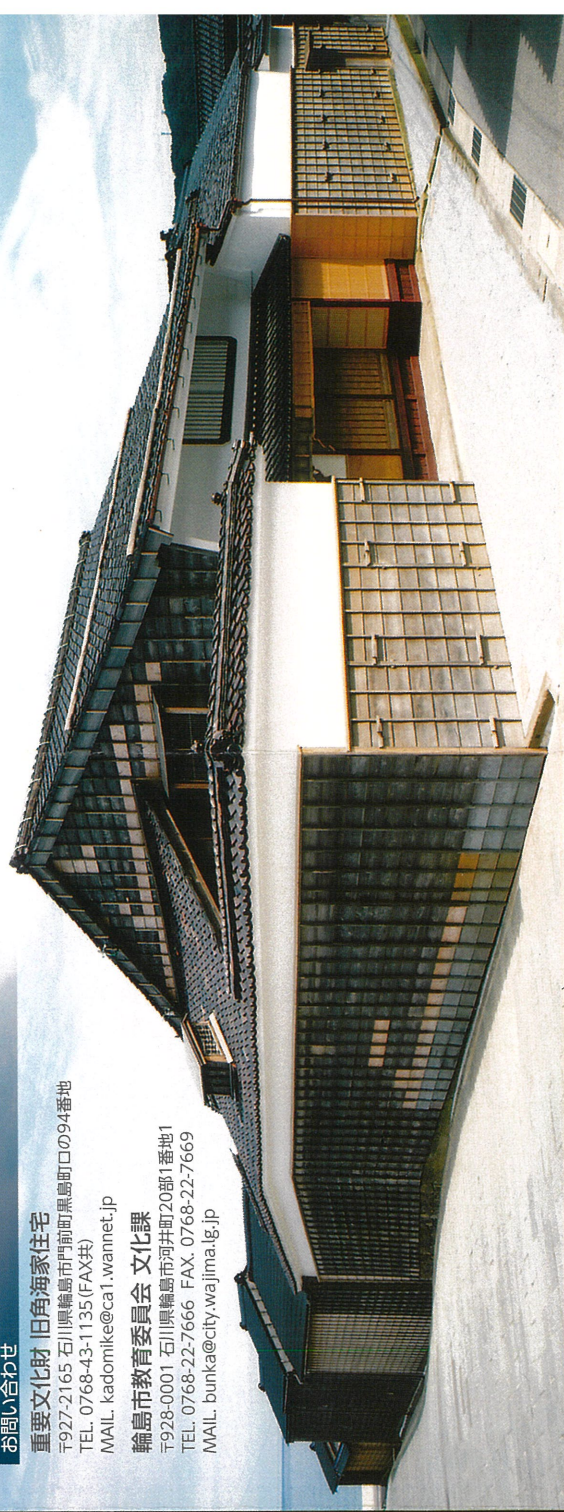
大人(15歳以上の者 ただし、中学生及び高校生を除く)	320円
団体(20名以上)	270円
小学生、中学生及び高校生	150円

午前9時から午後5時まで(ただし入館は午後4時30分まで)

月曜日(祝祭日に当たたる場合はその翌日)
年末年始(12月29日から翌年1月3日まで)

重要文化財 旧角海家住宅
〒927-2165 石川県輪島市河井町黒島町の94番地
TEL. 0768-43-135 (FAX)#
MAIL. kadomike@ca1.wannet.jp

輪島市教育委員会 文化課
〒928-0001 石川県輪島市河井町20部1番地1
TEL. 0768-22-7666 FAX. 0768-22-7669
MAIL. bunka@city.walima.jp



重要文化財

旧角海家住宅

旧角海家住宅は、現存する黒島地区の代表的な廻船問屋住宅です。現在の屋敷構えは、明治4年(1871)の大火後に順次整えられ、地元の名匠・工野藤兵衛によって、配置や構造は元通りに再建されたと伝えられています。

主屋は本造(一部)二階建てで、切妻造平入りの檼瓦葺です。表通りに面した正面は、庇を縁棟付の持送で支え、庇下にサガリと呼ばれる風除けの幕版や、大戸口と簾虫籠、格子などを設けており、つし二階は軒廻りまで漆喰を塗込めて虫籠窓を付けています。側背面は海風除けのため下見板張りとなっています。

間取りは、表通りに並行して店の間・帳場・中の間・座敷と並び、庭を取り囲むように居室を配置し、家族の居室や海を望む望楼が配置されています。このように中庭をコの字形に囲むように部屋を配置する形式をミツボカコイと呼び、黒島地区の多くの住宅にみられます。また、主屋の大戸口から奥まで通り庭があり、その南側下屋には台所やお竈などが並び、往時の廻船問屋住宅の規模をよく伝えています。

平成19年(2007)の能登半島地震によって大きな被害を受けた後、土地建物共に輪島市に寄贈され、同23年(2011)7月に復原工事を終えました。

輪島市指定文化財
「新漆塗南蔵(重要有形構築物)」



輪島市指定文化財
「新漆塗南蔵(重要有形構築物)」

